

鶴南に韓国から視察団が来校されました！

鎮西学院大学の依頼で、韓国の釜山恵星(けいせい)学校から6名の先生方が来校されました。
チェ イルムン 分藤 賢之 イムニダ ギョジャン イムニダ チャルプ タカムニダ

釜山恵星学校は、知的障害のある子どもたちが学ぶ学校だそうです。

韓国では、2015年に特別支援教育の教育課程が改訂され、特別支援教育の対象者に適用する『特殊教育課程』のうち、知的障害のある子どもを対象にした「基本教育課程」で取り扱うべき教科の一つに『実科』というものが設定されたそうです。また、2022年の『特殊教育課程』の改訂では、「日常生活活動」が適用されたとも言われていました。なお、「実科」と「日常生活活動」の位置付けや関係性は詳しく聞けませんでした。通訳士さんによれば、「初等学校の5～6年生に位置付けられているもので、日常生活に必要な知識、基礎生活能力、価値判断力等を養い、自ら生活を改善できるようにすることを目的とした教科」という説明でした。

鶴南の授業で言えば、生活科(小学部)や自立活動、日常生活の指導のイメージだと推測しました。

日本では、知的障害のある子どもたちのために「生活科」が誕生(1971年3月)して53年が経ちました。また、知的障害のある子どもたちに対し、「各教科等を合わせた指導」が規則(1962年6月)で認められて62年が経ちました。さらに、自立活動の前身である「養護・訓練」が創設(1971年4月)されてから53年が経ちました。

そのようなか、鶴南は1991年4月に誕生し、生活科(小学部)や自立活動、日常生活の指導の教育実践を積み重ねて33年が経ちました。釜山恵星学校の先生方に対し、鶴南に蓄積された教育実践の成果を紹介した後は、貴重な国際教育交流の時間となりました。釜山恵星学校の先生からは、鶴南の取組への拍手を何度もいただきました。

カムサハムニダ



韓国から視察団が来校されると聞いたとき、ついに我が校の情報発信は海を越えたか?!と一瞬舞い上がってしまいましたが、これからも鶴南の素晴らしい教育を外に発信してまいります。

もっと自由な発想と挑戦を楽しむ境地で鶴南の教育を創る
- 「R6年度 学校運営方針」でめざす! -